

会誌「地形」投稿規定（1990年3月，1993年10月，1999年4月，2002年1月，2003年10月一部改訂）

日本地形学連合

1. 原稿の種類は，論説，地域研究，総説，技術報告，研究ノート，討論，書評，技術ノート，抄録，ひろば，記事，関連学界ニュースなどとする．これらの区分は次々頁を参照のこと．
2. 原稿の長さ（図表を含めた刷上り頁数）は原則として，論説，地域研究，総説では16頁以内，技術報告，研究ノートでは10頁以内とし，そのほかはこれらに準じる．超過頁分の経費（当分，頁当たり8,000円，ただし学生・未就業者は4,000円）は原則として著者の負担とする．
3. 原稿はいつでも受付け，2名の査読者による閲読を受ける．受理の可否は，編集幹事会で決定し，原則として受理の順に掲載する．
4. 原稿は原則として日本語または英語で書き，必ず英語の題目・著者名・要旨（本文が日本語のとき400語以内，英語のとき200語程度）・所属機関名・同所在地をそえる．ただし，英語の原稿ではさらにこれらの事項の日本語もそえる．
5. 英文要旨の下に1行あけて，5語以内のKey wordsを英語で示す．
6. 日本語原稿をワープロで書く時は必ず1行あきとし，英語はすべてダブル・スペースでタイプする．いずれの場合も，上下・左右に充分の余白（3.5cm程度）をとる．
7. 地名・人名などで難読漢字にはふりがなをつけ，外国の地名はカタカナ，数字はアラビア数字，物理量をあらわす文字はイタリックを用いる．
8. 数式は2行どりで書くが，本文中での数式は2行にわたらない形（たとえば， $\sin \theta / L$ ）にする．
9. 図（写真を含む）と表は，Fig.1., Table 1.のように番号をつけ，図表ごとに別紙とし，原則として英語で説明する．図表の説明文は別の用紙に一括して書く．図表には用紙の空白部に青エンピツでその番号と著者名を明記し，図表の挿入位置を原稿用紙の右空白部に朱書きする．
10. 図表は，そのまま版下になるように鮮明に描き（またはタイプし），刷上り寸法の1～3倍に作成する．図表内の文字は原則として英字で示し，その最小文字（添字，ベキ数など）が刷上り時にタテ1mm以上になるように大きめに書く．提出する原図がA4版より大きい場合には，予めA4版におさまるように縮小して提出する．
11. 特殊な図版（折込，色刷りなど）は原則として著者の実費負担とする．
12. 引用文献は，本文中ではYatsu (1966, p.5～6)，共著者3名以上のときは奥田ほか (1970, p.123) のように書き，単行本および長文の論文を引用するときは引用頁を示す．
13. 引用文献は本文の最後に“引用文献”として和文・欧文を区別せず一括し，著者名のアルファベット順，発表年順に示す．その際，共著者名，論文題目，書籍名などは省略しないで全文を書くが，著名な雑誌名，書籍発行所，同所在地は慣用の省略形で書いてもよい．
14. 脚注は認めないので，必要なら本文のつぎに注記かAppendixの形で示す．
15. 以上のほか，全体のスタイルおよび細目については「地形」の最新号を参照し，とくに英語の本文・要旨については適切な人（できれば英語を母国語とする専門家）に十分な事前校閲を受け，完全原稿を送付する．
16. 編集作業上，最初に投稿するときは，原稿および図表のオリジナルは送らずに，それらのコピーを3部送付する．ただし写真はオリジナル1部とそのコピー2部を添付する．オリジナルの図表は，受理決定後に提出する．最終原稿には，原則としてフロッピーをつけることとする．
17. 再校以降の校正は編集幹事が著者の初校に従って行うが，初校ミスは著者の責任とする．
18. 別刷は著者の実費負担（含送料）とする．ただし著者全員が未就業者の場合は，別刷50部（表紙なし）までを無料とする．別刷代金については本号次々頁を参照のこと．
19. 本誌に掲載された論文等の著作権は本学会に属するものとする．ただし著者がこれらの全部ないし一部を著者自身で他に利用する場合は，その旨を本学会に通知し，かつ，その記事の出所を明示すれば足りるものとする．第三者から転載申し込みのあった場合は，本学会が窓口となり，本学会と著者の相談により可否を決定するものとする．
20. 原稿は編集主幹あてに送付する．

「地形」掲載報文の区分について

「地形」に投稿された報文は、査読基準を明確にするため、当分の間、下記のように大別して掲載するが、報文の内容によっては柔軟に編集する。

- 論説 (Original Article)**：地形およびそれに関連する事柄に関する一般的概念を確立した独創的研究。
- 地域研究 (Regional Geomorphology)**：特定の地区ないし地域の地形およびそれに関連する事柄に関する事例研究であるが、その記載が精細または定量的で、広く関心がもたれるもの。
- 総説 (Subject Review Article)**：地形およびそれに関連する事柄あるいは研究動向に関する総括的かつ学術的な論評、解説、紹介。
- 技術報告 (Technique in Geomorphology)**：地形研究に有用な手法・機器の開発およびそれらを援用した研究。
- 研究ノート (Letter)**：明確な結論の提示には至らないが、研究途次の速報として批判を得ようとする報文または簡単な事例研究の報文。
- 資料 (Data)**：会員の参考になるデータを取りまとめたもの。
- 特集 (Featured Article)**：特定の課題について集録された報文集（内容的には論説、地域研究、総説、研究ノートなどに類するもの）、およびそれに関連する総合討論などの記録。
- 招待論説 (Invited Article)**：本会が招待した講演の報文または本会が寄稿依頼したもの。ただし、特集に含める場合もある。
- 討論 (Discussion and Reply)**：過去2年以内の「地形」掲載報文に対する学術的討論とそれに対する原著者の回答。
- 地形抄録 (GEOMORPHOLOGICAL ABSTRACTS)**：各専門分野間の情報交換および国際交流の強化のため、日本で発表された地形およびそれに関連する事柄の研究報告のうち、特に国際的関心が持たれると思われる報告の抄録を英文で紹介するもの。ただし、「地形」掲載報文はこれに含めない。なお、抄録方法は別に定めてある（地形、4巻2号、p.250）。
- 講演要旨 (Abstracts of Papers Presented at the Annual Meeting of the Union)**：本会主催の研究発表会・講演会における講演の要旨。ただし、完全な報文の掲載が同じ号に予定されているものの要旨は省略することがある。
- ひろば (Forum)**：地形学およびこれに関連する学問の進歩または本会の発展に有益な意見、希望、質問とそれらに対する適切な人からの回答、情報、雑報など。
- 書評 (Book Review)**：国内・国外で刊行された地形およびそれに関連する事柄に関する各種刊行物の論評・紹介。
- 技術ノート (Technical Note)**：地形研究に有益な技術、手法、機器の紹介・解説。
- 記事 (Proceedings)**：本会の活動の事務的記録。
- 関連学界ニュース (Forthcoming Meeting)**：本会が後援または協力する会合のほか、多くの会員に関心のある国内・国外の会合についての情報。
- 会告 (Announcement)**：本会の今後の活動予定を周知するための告文。

「地形」掲載論文のカラー印刷代および別刷代金について

カラー印刷代は以下のようになります。

- カラー頁の総数が1頁の場合、64,000円（頁単価 64,000円）
- カラー頁の総数が2頁の場合、74,000円（頁単価 37,000円）
- カラー頁の総数が3頁の場合、78,900円（頁単価 26,300円）
- カラー頁の総数が4頁の場合、84,000円（頁単価 21,000円）
- カラー頁の総数が5頁の場合、89,000円（頁単価 17,800円）
- カラー頁の総数が6頁の場合、93,600円（頁単価 15,600円）

別刷は50部単位で購入することができます。

別刷には表紙を付けたものと、付けないもののどちらかを選択できます。初校時に著者に問い合わせることにします。

別刷代は以下のようになります。

	表紙なし	表紙つき
50部	5,000円	10,000円
100部	8,000円	15,000円
150部	10,800円	18,000円
200部	14,000円	20,000円
300部	18,000円	24,000円
